

は三度の飯よりも入浴の好きな人。逆に嫌いな人。温好き、ぬるま好き、長湯の人。烏の行水など種々のタイプがあります。入浴に就いて診みたいものが多年の経験から沢山云われております。それらのうち2、3を御紹介いたします。

① 「一番湯は馬鹿が入る」

さら湯と云つて湯加減の不適當で刺戟が強いからです。(エムルジョン化していない)

② 「一番座敷に二番湯」

③ 「二日酔に朝風呂」

二日酔はアルコール分が脳細胞から逃げざる不愉快の感じですから、あつく入浴に入つて心理的の効果があります。

④ 「朝湯と親の仇は末まで残る」老人には末まで効果が残る利得ありと云われるが若い人には不要と思います。

⑤ 「混浴はからだにいい」精神的に若返ると云う。

⑥ 「柚子湯、菖蒲湯は長生のもと」揮発分が溶けて湯ざめしないと云うVCの方は如何と思わる。

⑦ 「ギンレイ法はスタミナのもと」

⑧ 「サウナも健康法の一つ」

これ等の利用法を充分やつて健康増進の効果をあげて欲しいものです。次に私の風呂道楽について申し上げます。大正十年頃上京してから東京市の湯屋を手拭一本で巡歴しました。当時は高いビルもなかつたので目標は煙突を探して本郷から電気風呂麻布中野迄定休日と知らず行つた事があります。当時は五銭の入浴料でした。街の入浴風景が種々あつて面白かつた。たまたま豊多摩刑務所で見学して手拭を浴槽中に入れなくて実施した事は後日軍隊で入浴の事に責任者として役立つた。

寒地の入浴は非常に困難なものでした。(ハルビンの入浴話)

次に函館市での夢の風呂研究話

西園寺公がよく若い婦人の入浴後を好んで使用された話から女性ホルモンを集めて化粧水を作りたいと云う野望から発しました(無料浴湯を経営してホルモンをいただきたい為)。市内五ヶ所(弁天、柴町、高盛、五稜郭、大繩町、中島町)の浴場の最終の湯水を対照としてPH602位かを絹練草に加えて3ヶ月やりましたが結果は五稜郭方面、高盛方面の若い人の多いところが優秀でした。九年の大火でおしまいになりました。

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第249号

1968~1969-2-12

函館北ロータリークラブ

第235回例会

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム

卓話 「最近の大学問題について」

北海道教育大学教授 佐藤英吉氏

——ロータリー創立記念日 2月23日——

「湖畔の一都市を舞台として、一場のドラマが始まつた。このドラマがどんな意義をもつものであるか、何人も予測しえたものはない。登場人物は、世の平凡な道を行く実業家および職業人であつて、必ずしも一頭地を抜くほどの特質を備えた人ではなかつた。しかし一般的な意味で「立派な人」と表現しても差支えない人々であり、4人とも気が合つていて仲がよく、めいめい業種の異なる立派な事業あるいは職業をもつていた。彼等は信仰、人種、政治的意見の相違に関係なく集まつた人々なのである。

— ポール・P・ハリス著 This Rotarian Age より—

第234回例会—記録(1968~1969.2.5)

米 司 会 深瀬会長 米 斉 唱 君が代・奉仕の理想  
米 ビジター 滑川貴一君(江差RC.)

函館RC 藤河端君外12名  
函館東RC 尾形十一君外12名

米 会長報告 布目会員先週ロータリー出席の途中、ビル内で、転倒1ヶ月の入院、尚富田病院に入院しております。

米 幹事報告

1. 例会終了後定例理事会を開催します 元会長も御出席下さい。
2. 経歴の浅いロータリー会員は、出来る限り理事会を御見学下さい。
3. 次期理事に適当な方を候補として御推薦下さい。
4. 2月11日建国記念日で函館RCは休会です。メーキャップされる方は、御注意下さい。

米 ニコニコボックス

1. 西村、水上会員御誕生、結婚記念で金一封、おめでとございます。
2. 飯田神生会員には、入院全快祝で、金一封

## ＊ 会員卓話

「随感」 飯田元会長

随感と云う題で、お話しする事になりましたが、元会長と云う名のもとにお話し申上げる事は、はなはだ面映ゆい感じですが、と申しますのは、3年前の1966年の7月から、北R0三代目の会長を仰せつかり、拒否権なしの、ルールに忠実に従って張切つてスタート・ラインについたのは、よかつたのですが、7月17日に不注意の怪我で入院7月27日のガバナ公式訪問に出席出来ず、飯田副会長始め皆様に大変御迷惑をおかけしました。その上当時の岡田ガバナに過分のお言葉を頂き冷汗をかけた次第です。

昨年12月より、続けて、欠席、出席率に大きな影響を及ぼし、誠に申し訳ありません。12月9日より1月22日迄入院し恐縮でございますが、ごんげをするような、気持ちで入院でんまつと病気の御報告をさせていただきます。

入院の動機は、呑みすぎで、胃の工合が悪く、吐血があり、胃潰瘍か又胃ガンではないか、半ば恐れながら、五病に入院。数日後レントゲン検査の結果、肝臓が機能不調である事が判明致しました。

肝臓は体の臓器の中で、一番大きく「肝心」あるいは肝腎と云われる程重要な役割を持っています。肝臓は、腹部の右上にあり重さは大人で、1300g～1500gもあり内臓の中で、一番重い器管です。

東野侯夫博士の話に寄りますと肝臓は、非常に神秘的なもので、人体の大化学工場と云われます、心臓が力強く規則正しく動き、血管にきれいな血液が絶え間なく流れ食物がよくこなされ脳の働き正常を保ち、筋肉が遅しく躍動するものすべてが肝臓の働きによるものです。

肝臓の病気には、いろいろありますが恐ろしいのは、肝硬変症や腹水がたまって肝性昏睡をおこす様になると適確な治療法もなくなるとされています。このように肝臓は、すばらしい臓器であると同時に一度害うと治療がなかく、厄介なもので、ある事がわかりました。

自覚症状が仲々わかりにくい病気だけに皆様もどうか肝臓を大切にされる事を望みます。

## ＊ 「土器の話」 木村会員

諸先輩の前で、田舎ではともあれ函館に於いて、経済問題等をお話し申上げる事は、おこがましく色々考えた末、入会の時紹介した私の趣味のお話を致したいと存じます。美術鑑賞 実には皆様の前にある、この縄文式土器鑑賞で御座居ます。時間の許す限り、この土器を主役にし、お話し申上げ、皆様と共にこの土

器を鑑賞して参りたいと思います。私の勤める銀行に於いて、開店の時、亀田町の珍しいものを展示したいと思ひ探したのですが、特産の大根の漬物はありました。他にこれと云つて、見あたらないので、この土器を教育委員会より借り受け店頭にて飾らせて頂いた経緯もあり、私としては、大変愛着の深い土器でもあります。

昭和40年亀田町のサイベ沢から発掘されたもので、サイベ沢の土器は、縄文式の中期の円筒上層式のものでされ、この土器は、雄大である上に口縁部に人面を附飾した、大変珍しいものであります。多数の住居跡と共に発掘された貴重な文化財であり、当時の生活、信仰の状態が偲ばれます。

或は当時の若者が嫁さんの顔を原始的な手つきで、この土器の中に刻んだかも知れません。函館市の住吉町の遺跡は、しばらくの間、日本最古の土器と云われた住吉町式土器が発掘され大変貴重な遺跡であります。

函館は、非常に古くから、人間が住みつき繁栄した場所だと考えられます。そして豊かな海の幸、山の幸に恵まれ、創造性豊かなサイベ沢人の誕生があつたものと考えられます。ともあれ、函館は原始歴史時代を通し、本道では稀に文化財に恵まれた土地でございます。

皆様にも興味のある方は多数あられると存じますが、サイベ沢土器の紹介を通して、古い時代を偲びながら、郷土の貴重な文化財に対する関心を多少とも高めることが出来ましたなら、私にとつて、この上ない幸でございます。

## ＊ 出席報告

|        |       |       |              |
|--------|-------|-------|--------------|
| 本日の出席  | 会員43名 | 出席36名 | 欠席7名         |
| 前回の出席  | 会員42名 | 出席40名 | 欠席2名         |
| 他クラブ状況 | 函館クラブ | 95.54 | 函館東クラブ95.18% |

## ◎ ロータリー情報委員会日より

理事会(1969.2.5)決定事項

1. 函館市青年センター建設基金として函館三クラブ合同で¥150,000を寄附する事に決定(5.3.2の比率で北クラブ負担金¥30,000)
2. 函館大学再建寄附金三クラブ合同で¥100,000(北クラブ20,000)
3. 新入会員クラブ奉仕部門の決定

親睦委員会 — 関本会員、酒井会員

インターアクト諮問委員会 — 小村会員

△△

新入会員の方は出来るだけ理事会を傍聴してください。一日も早くロータリーを  
理解して頂き、フルな活動の場に参加して奉仕を致しましょう

## The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第250号

1968~1969-2-19

函館北ロータリークラブ

第236回例会

例会場 函館拓退ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

ロータリー 創立記念日 2月23日

- ① 広く知己を求めて奉仕の機会を多く持つ
- ② 各自の職業に誇りをもつてその道徳的基準を高める
- ③ 公私の別なく奉仕の理想を実行する
- ④ 国際的にも理解と友情を広めかつ深める

### 本日のプログラム

卓話 “海洋気象台の仕事”  
函館海洋気象台長 杉浦次郎氏

### 第235回例会 記録(1968~1969, 2, 5)

- 米 司 会 深瀬会長 米 斉 唱 手に手つないで
- 米 ゲ ス ト 佐藤英吉氏(北海道教育大学教授)
- 米 ビジター 荒川正敬君(函館東R.C)外11名  
大沼平八郎君(函館R.C)外8名
- 米 幹事報告 会員推薦委員会を開きますので例会終了後委員の方はお残り願  
います。
- 米 卓 話 最近の大学問題について 北海道教育大学教授 佐藤英吉氏  
本日は誇り高い本会にお呼び頂き御聴講願います事を光栄に思い厚く御礼申  
上げます。  
皆さんも大学問題については色々御感想をお持ちかと思いますが私も内部の  
方から見まして教育的次元では処理の出来ない問題だと思います。その点世界  
各国の夫々の大学とは多少性格を異にしていると思います。アメリカはヒュー  
マニズムという方面から多数の学生が参加しております。イタリーのボロニア